

ASAHI BOND

JIS A 6024 「建築補修用注入エポキシ樹脂」硬質形低粘度形 適合品

アサヒボンド551

アサヒボンド551は、流動性に富んだ低粘度タイプのエポキシ樹脂です。狭い間隙への注入・充填が容易に行えるので、コンクリートのひび割れ注入工法やモルタル等の浮き全面注入工法に最適です。また、機械的強度や耐薬品性・耐水性にも優れているので、エポキシ樹脂モルタルのバインダーにも適しています。

特 長

1. 低 粘 度 流動性が良く、狭い間隙に容易に充填できます。
2. 長可使時間 可使時間が長いので、自動式低圧樹脂注入工法に最適です。
3. 優れた接着力 コンクリート・モルタル・鋼材等に優れた接着力を発揮します。
4. 高 強 度 機械的強度が大きい。
5. 湿潤面接着 湿潤面に対しても良好な接着が期待できます。
6. 低 毒 性 カブレに対しより安全な配合になりました。
7. 無 収 縮 硬化時の収縮が殆ど有りません。



用 途

1. コンクリートのひび割れ注入（自動式・手動式）
2. モルタル・タイル等の浮き注入（全面注入工法での残存浮き部への注入）
3. エポキシ樹脂モルタルのバインダー
4. エポキシ樹脂モルタルのタックコート

■ 性 状

品名 項目	551R (一般用)		551W (冬用)	
	主 剤	硬化剤	主 剤	硬化剤
外 観	淡黄色透明液	淡褐色透明液	淡黄色透明液	淡褐色透明液
	混合物：淡褐色透明液		混合物：淡褐色透明液	
主 成 分	エポキシ樹脂	変性脂肪族アミン	エポキシ樹脂	変性脂肪族アミン
比 重	1.13	1.00	1.13	1.00
	混合物：1.08		混合物：1.08	
配 合 比	主剤：硬化剤＝2：1（質量比）		主剤：硬化剤＝2：1（質量比）	
可使時間	約50分（20℃、500g）		約30分（20℃、500g）	

■ 性 能

JIS A 6024（建築補修用注入エポキシ樹脂）による品質試験

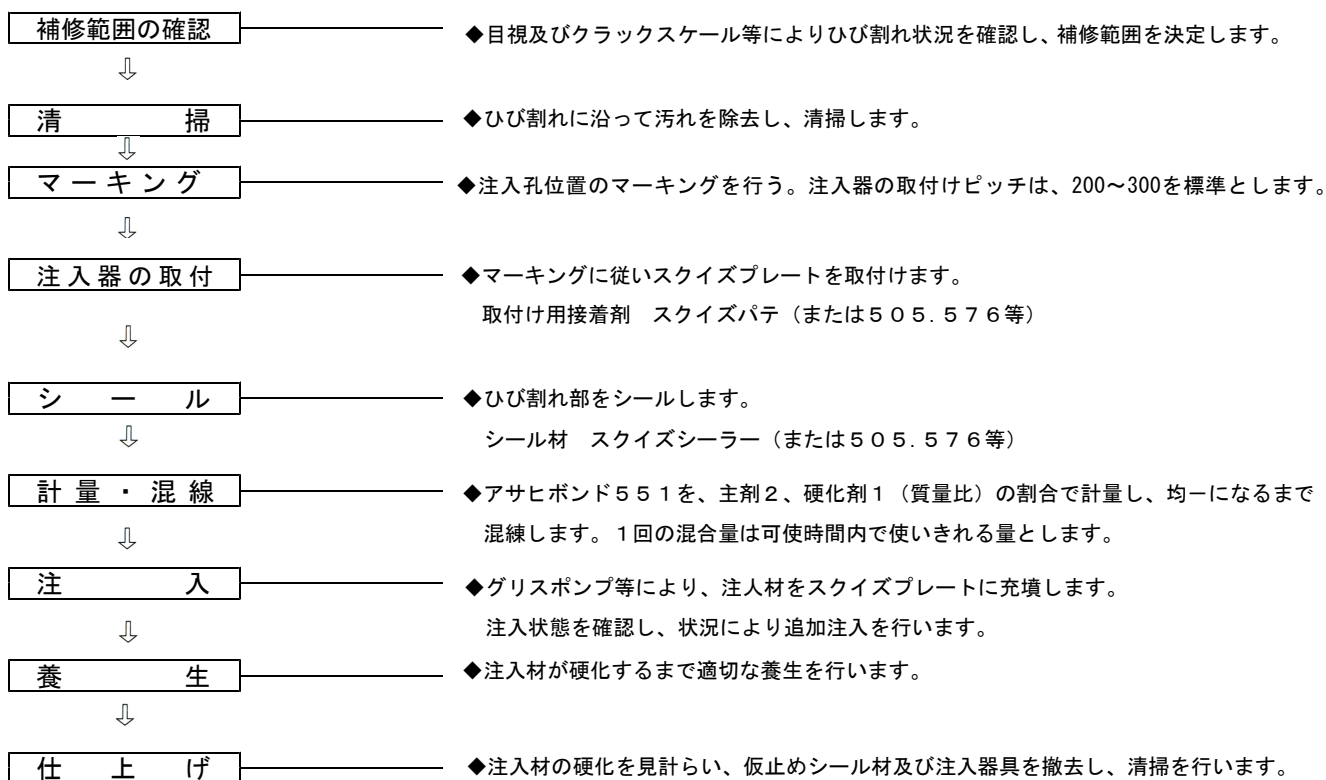
試験項目		試験条件	551R	551W	JIS品質規定	
粘 度 (mPa・s)		23±0.5℃	480	470	100～1000	
接着強さ (N/mm ²)		標準条件	7.4	9.6	6.0以上	
		特殊条件	低温時	—	7.9	3.0以上
			湿潤時	4.8	5.1	3.0以上
			乾湿繰返し時	6.2	5.0	3.0以上
硬化収縮率 (%)		標準条件	1.9	1.8	3以下	
加熱変化	質量変化率 (%)	—	3.9	3.2	5以下	
	体積変化率 (%)	—	3.6	3.1	5以下	
引張強さ (N/mm ²)		標準条件	43.3	59.1	15.0以上	
引張破壊伸び (%)		標準条件	1.7	2.3	10以下	

温度と粘度

	単位 (mPa・s)				
	5℃	10℃	20℃	30℃	35℃
551 R	—	1600	520	200	170
551 W	2100	1300	500	—	—

使用方法 (代表的な工法)

アサボンスクイズ工法(自動式低圧エポキシ樹脂注入工法)



■ 使用上の注意

- ◆ 551の一般用と冬用の使用区分は、原則として右表の通りです。

	使用温度の目安	使用時期の目安
一般用	10～35℃	3月～11月
冬用	5～15℃	11月～3月

- ◆ 材料は、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- ◆ 器工具・衣服等に付着した場合は、未硬化のうちに溶剤を含ませたウエスで拭き取って下さい。
- ◆ 低温時（5℃未満）や雨天（屋外施工時）に施工する場合は、硬化不良や接着不良の原因になりやすいので、施工の際は充分ご留意下さい。
- ◆ 皮ふに直接触れたり、蒸気を吸い込むと、体質により皮ふ障害を起こす場合がありますので、以下の点に注意してご使用下さい。
 - ・ コンクリート槽のように換気の悪い作業環境の場合は、強制換気装置をご使用下さい。
 - ・ 施工中は必ず保護手袋を着用して下さい。
 - ・ 皮ふに直接触れた場合は、直ちに中性石けんで洗い落として下さい。
 - ・ 眼に入った場合は、大量の流水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けて下さい。

■ 梱包容量

6 kg/セット（主剤 4 kg 硬化剤 2 kg） 1箱2セット入



アサヒボンド工業株式会社

〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町3-7
TEL (03) 3972-4929 FAX (03) 3972-4856